

植物性たん白についての製造業者等の認定の技術的基準の一部を改正する件新旧対照表

○植物性たん白についての製造業者等の認定の技術的基準（平成12年10月24日農林水産省告示第1341号）

（傍線の部分は改正部分）

新（平成21年10月5日農林水産省告示第1405号）	旧
<p>第一 製造業者又は輸出業者以外の外国製造業者の認定の技術的基準</p> <p>一 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設</p> <p>1 製造施設</p> <p>(1) 作業場</p> <p>次の条件に適合していること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 調整から包装に至るまでの作業を行う場所で、中間製品又は製品が露出する部分の上部は、ちり等の落下を防止できる構造であり、かつ、窓、出入口その他開放する<u>箇所は、</u>ねずみ及び昆虫の侵入を防止できる構造であること。</p> <p>ウ 床面は、平らに仕上げてあり、かつ、清掃しやすいものであること。ただし、水を使用する作業を行う床面については、耐水性材料を用いて平らに仕上げてあり、かつ、排水が良好に行える構造であること。</p> <p>エ・オ (略)</p> <p>(2) 機械器具</p> <p>均衡した能力を有し、<u>かつ、連続した生産が可能な機械器具</u>であること。ただし、年間を通じて大量に生産を行う製造ライン(以下「大量製造ライン」という。)の場合の当該大量製造ラインに係る機械器具は、大量生産に適し、かつ、生産が一貫して行えるよう連続したものであること。</p> <p>2 保管施設</p> <p>原材料、資材及び製品の品質が良好に保持できる<u>適当な広さの施設</u>であること。ただし、大量製造ラインの場合にあっては、大量生産に十分対応できるものであること。</p> <p>3 品質管理施設</p> <p>二の2の内部規程に従い品質管理(外注管理(製造、検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合における外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理をいう。)を含む。以下同じ。)を行うために必要な<u>機械器具を備えている施設</u>であること。</p> <p>4 格付のための施設</p> <p>次の機械器具を備えているほか、検査結果の評価及び証票の管理のための適当な広さの施設であること。ただし、<u>次に掲げるすべての機械器具</u>にあっては格付のための試料の検査を自ら行わない場合、(3)に掲げる機械器具にあってはペースト状植物性たん白又は繊維状植物性たん白を製造する場合、(4)及び(7)に掲げる機械器具にあっては粉末状植物性たん白を製造する場合、(6)に掲げる機械器具にあっては粒状植物性たん白又は繊維状植物性たん白を製造する場合、(8)に掲げる機械器具にあっては冷凍品以外のものを製造する場合、(10)に掲げる機械器具にあっては粉末状植物性たん白又はペースト状植物性たん白を製造する場合を除く。</p> <p>(1)～(12) (略)</p> <p>二 (略)</p>	<p>第一 製造業者又は輸出業者以外の外国製造業者の認定の技術的基準</p> <p>一 製造又は加工、保管、品質管理及び格付のための施設</p> <p>1 製造施設</p> <p>(1) 作業場</p> <p>次の条件に適合していること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 調整から包装に至るまでの作業を行う場所で、中間製品又は製品が露出する部分の上部は、ちり等の落下を防止できる構造であり、かつ、窓、出入口その他開放する<u>場所には、</u>ねずみ及び昆虫の侵入を防止する設備があること。</p> <p>ウ 床面は、平らに仕上げてあり、かつ、清掃しやすいものであること。ただし、水を使用する作業を行う<u>場所の</u>床面については、耐水性材料を用いて平らに仕上げてあり、かつ、排水が良好に行える構造であること。</p> <p>エ・オ (略)</p> <p>(2) 機械器具</p> <p>均衡した能力を有し、連続した生産が<u>可能</u>であること。ただし、年間を通じて大量に生産を行う製造ライン(以下「大量製造ライン」という。)の場合の当該大量製造ラインに係る機械器具は、大量生産に適し、かつ、生産が一貫して行えるよう連続したものであること。</p> <p>2 保管施設</p> <p>原材料、資材及び製品の品質が良好に保持できる適当な広さであること。ただし、大量製造ラインの場合にあっては、大量生産に十分対応できるものであること。</p> <p>3 品質管理施設</p> <p>二の2の内部規程に従い品質管理(外注管理(製造、検査又は設備の管理の一部を外部の者に行わせている場合における外注先の選定基準、外注内容、外注手続等当該外注に関する管理をいう。)を含む。以下同じ。)を行うために必要な<u>機械器具及び施設</u>であること。</p> <p>4 格付のための施設</p> <p>次の機械器具を備えているほか、検査結果の評価及び証票の管理のための適当な広さの施設であること。ただし、<u>これらの機械器具</u>にあっては格付のための試料の検査を自ら行わない場合、(3)に掲げる機械器具にあってはペースト状植物性たん白又は繊維状植物性たん白を製造する場合、(4)及び(7)に掲げる機械器具にあっては粉末状植物性たん白を製造する場合、(6)に掲げる機械器具にあっては粒状植物性たん白又は繊維状植物性たん白を製造する場合、(8)に掲げる機械器具にあっては冷凍品以外のものを製造する場合、(10)に掲げる機械器具にあっては粉末状植物性たん白又はペースト状植物性たん白を製造する場合を除く。</p> <p>(1)～(12) (略)</p> <p>二 (略)</p>

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者の資格及び人数

品質管理担当者として、次のいずれかに該当する者が2人以上置かれていること。この場合において、大量製造ラインの場合にあっては、うち1人以上は、次のいずれかに該当し、かつ、製品検査技術に習熟した者であること。

(1)～(3) (略)

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、品質管理担当者の中から、認定機関の指定する講習会（以下「講習会」という。）において植物性たん白に係る品質管理に関する課程を修了した者が1人選任されていること。

四 格付の組織及び実施方法

1 (略)

2 格付の実施方法

(1) 次に掲げる事項について、格付に関する規程（以下「格付規程」という。）を具体的かつ体系的に整備していること。ただし、イ及びオに掲げる事項については、格付のための試料の検査を自ら行わない場合を除く。

ア～カ (略)

キ 格付の実施状況についての内部監査に関する事項

ク (略)

(2) 五の1の(1)又は(2)のいずれかに該当し、認定機関の指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者を置かずに、試料の検査を第三者に委託する場合にあっては、植物性たん白の試料の検査を適正に行い得る機械器具及び人員を備える者（役員、構成員又は職員の構成が試料の検査の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないものに限る。）と委託契約を締結し、格付のための試料の検査を行わせ、かつ、当該試料の検査の結果に基づき格付を行うこと。

(3) (略)

五 格付を担当する者の資格及び人数

1 格付検査担当者

格付検査担当者として、次のいずれかに該当し、認定機関の指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者が1人以上置かれていること。

(1)・(2) (略)

2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者であって、三の2に規定する品質管理責任者以外の者から講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人選任されていること。この場合において、製造の一部（充てん工程及び包装工程に限る。）を外部の者に委託する場合であって、委託先の工場又は事業所において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、委託先の工場又は事業所に格付責任者を補佐する者として、三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものを1人以上置くこと。

3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあっては、格付検査担当者及び格付責任者に代

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者の資格及び人数

品質管理担当者として、次のいずれかに該当する者が2人以上置かれていること。ただし、大量製造ラインの場合にあっては、うち1人以上は、次のいずれかに該当し、かつ、製品検査技術に習熟した者であること。

(1)～(3) (略)

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、品質管理担当者の中から、認定機関の指定する講習会（以下「講習会」という。）において植物性たん白に係る品質管理に関する課程を修了したものが1人選任されていること。

四 格付の組織及び実施方法

1 (略)

2 格付の実施方法

(1) 次に掲げる事項について、格付に関する規程（以下「格付規程」という。）を具体的かつ体系的に整備していること。ただし、イ、オ及びキに掲げる事項については、格付のための試料の検査を自ら行わない場合を除く。

ア～カ (略)

キ 格付の実施状況についての内部監査に関する事項

ク (略)

(2) 五の1に規定する格付検査担当者の資格を有する者を置かずに、試料の検査を第三者に委託する場合にあっては、植物性たん白の試料の検査を適正に行い得る機械器具及び人員を備える者（役員、構成員又は職員の構成が試料の検査の公正な実施に支障を及ぼすおそれがないものに限る。）と委託契約を締結し、格付のための試料の検査を行わせ、かつ、当該試料の検査の結果に基づき格付を行うこと。

(3) (略)

五 格付を担当する者の資格及び人数

1 格付検査担当者

格付検査担当者として、次のいずれかに該当し、かつ、認定機関の指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者が1人以上置かれていること。

(1)・(2) (略)

2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者であって、かつ、三の2に規定する品質管理責任者以外の者から講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人選任されていること。

3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあっては、格付検査担当者及び格付責任者に代

えて、格付担当者として、三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人以上置かれていること。この場合において、製造の一部（充てん工程及び包装工程に限る。）を外部の者に委託する場合であって、委託先の工場又は事業所において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、委託先の工場又は事業所に格付担当者を補佐する者として、三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものを1人以上置くこと。

第二 販売業者、輸入業者又は輸出業者の認定の技術的基準

一・二 （略）

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者

品質管理担当者として、第一の三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者が工場等に2人以上置かれていること。この場合において、品質管理担当者は、工場等の従業員から指名することができるものとする。

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、第一の三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白に係る品質管理に関する課程を修了したものが販売業者等に1人置かれていること。

四 （略）

五 格付を担当する者の資格及び人数

1 格付検査担当者

格付検査担当者として、第一の五の1の(1)又は(2)のいずれかに該当し、認定機関の指定する格付検査担当者技能研修を定期的に受講している者が販売業者等に1人以上置かれていること。

2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者であって、三の2に規定する品質管理責任者以外の者から、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人選任されていること。この場合において、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、工場等に格付責任者を補佐する者として、第一の三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものを1人以上置くこと。

3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、格付検査担当者及び格付責任者に代えて、格付担当者として、第一の三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが販売業者等に1人以上置かれていること。この場合において、工場等において格付の一部（試料の抽出等）を行う必要があると認められるときは、工場等に格付担当者を補佐する者として、第一の三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものを1人以上置くこと。

えて、格付担当者として、三の1の(1)、(2)又は(3)のいずれかに該当する者であって、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人以上置かれていること。

第二 販売業者、輸入業者又は輸出業者の認定の技術的基準

一・二 （略）

三 品質管理を担当する者の資格及び人数

1 品質管理担当者

品質管理担当者として、第一の三の1に規定する資格を有する者が工場等に2人以上置かれていること。なお、品質管理担当者は、工場等の従業員から指名することができるものとする。

2 品質管理責任者

品質管理責任者として、第一の三の1に規定する資格を有する者であって、かつ、講習会において植物性たん白に係る品質管理に関する課程を修了したものが販売業者等に1人置かれていること。

四 （略）

五 格付を担当する者の資格及び人数

1 格付検査担当者

格付検査担当者として、第一の五の1に規定する資格を有する者が販売業者等に1人以上置かれていること。

2 格付責任者

格付責任者として、格付検査担当者の中から、講習会において植物性たん白の格付に関する課程を修了したものが1人選任されていること。ただし、格付責任者は、三の2に規定する品質管理責任者以外の者でなければならない。

3 格付担当者

格付のための試料の検査を自ら行わない場合にあつては、格付検査担当者及び格付責任者に代えて、格付担当者として、第一の五の3に規定する資格を有する者が販売業者等に1人以上置かれていること。ただし、工場等において格付のための試料の検査の一部（試料の抽出等）を行う場合等必要があると認められるときは、工場等に格付担当者を補佐する者として、第一の五の3に規定する資格を有する者を1人以上置くこと。